

2019年3月期 決算説明会

2019年5月14日

 **丸文株式会社**

東証1部 7537

説明のポイント

2019年3月期業績

売上高 3,266億円（前期比 6.0%減）
経常利益 30億円（前期比 28.4%減）

2020年3月期業績見通し

売上高 2,915億円（前期比 10.8%減）
経常利益 31億円（前期比 4.3%増）

中期経営計画

- ROE目標8%に及ばず、新中期経営計画で達成目指す

2019年3月期 連結決算の概要

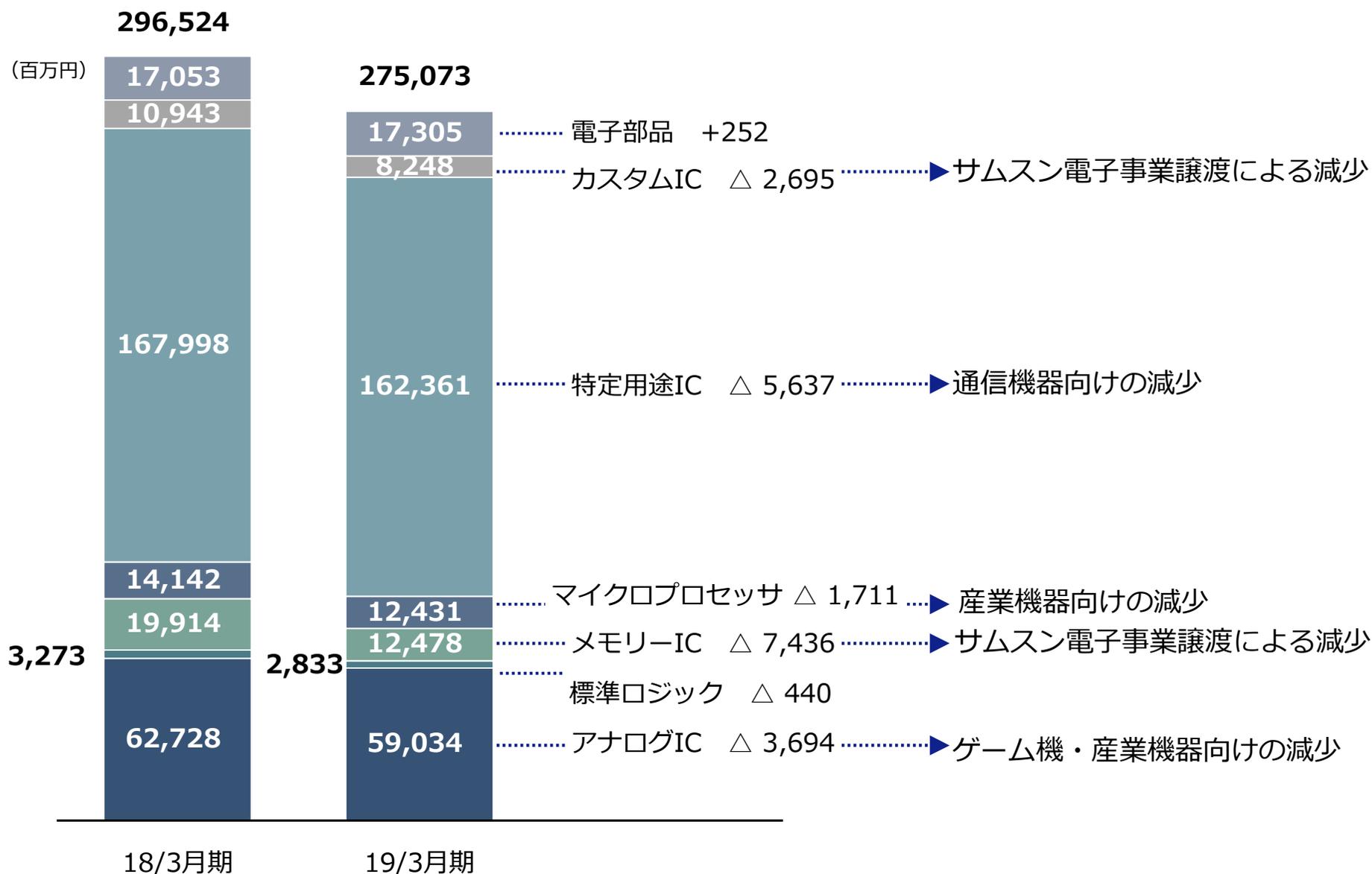
2019年3月期 業績サマリ

(百万円)	18/3月期		19/3月期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	%
売上高	347,508	100.0%	326,694	100.0%	△ 20,814	-6.0%
デバイス事業	296,524	85.3%	275,073	84.2%	△ 21,451	-7.2%
システム事業	50,983	14.7%	51,621	15.8%	638	1.3%
売上総利益	21,161	6.1%	22,767	7.0%	1,606	7.6%
販管費	17,390	5.0%	17,719	5.4%	329	1.9%
営業利益	3,771	1.1%	5,048	1.5%	1,277	33.9%
営業外収益	1,773	0.5%	568	0.2%	△ 1,205	-68.0%
営業外費用	1,327	0.4%	2,596	0.8%	1,269	95.6%
経常利益	4,218	1.2%	3,020	0.9%	△ 1,198	-28.4%
特別利益	6	0.0%	38	0.0%	32	533.3%
特別損失	311	0.1%	76	0.0%	△ 235	-75.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,077	0.6%	1,636	0.5%	△ 441	-21.2%

Point

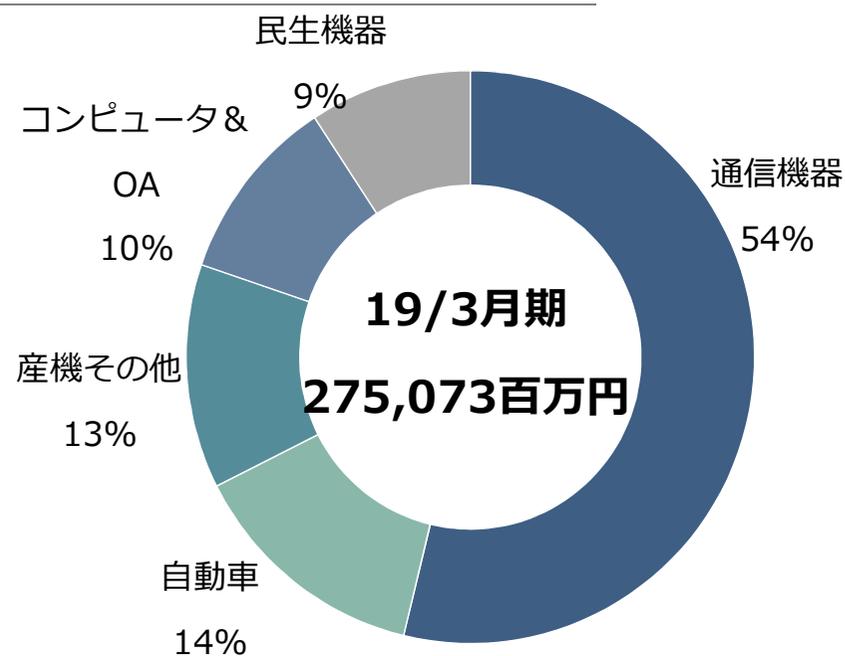
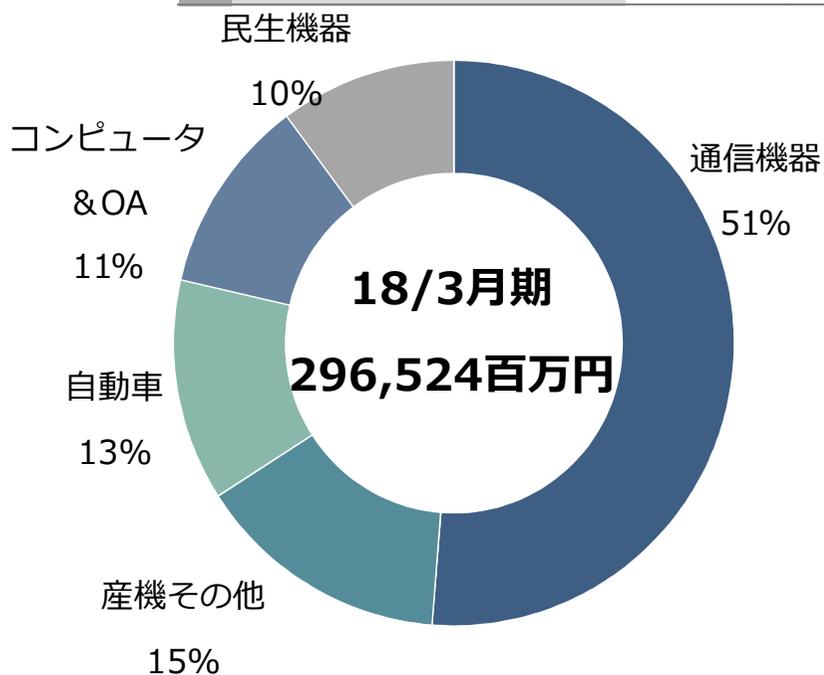
売上高	18年10月のサムスン電子事業譲渡による減少、通信機器向け半導体の需要減
売上総利益	前期末に円高進行で計上した外貨建て在庫評価損の戻し入れ 期初からの円安進行による外貨建て取引の差益増
営業利益	販管費が増加したものの、売上総利益の伸びがこれを吸収して増加
経常利益	期初からの円安進行による外貨建て債務の為替差損12億円計上により減少

2019年3月期 『デバイス事業』 品目別売上高



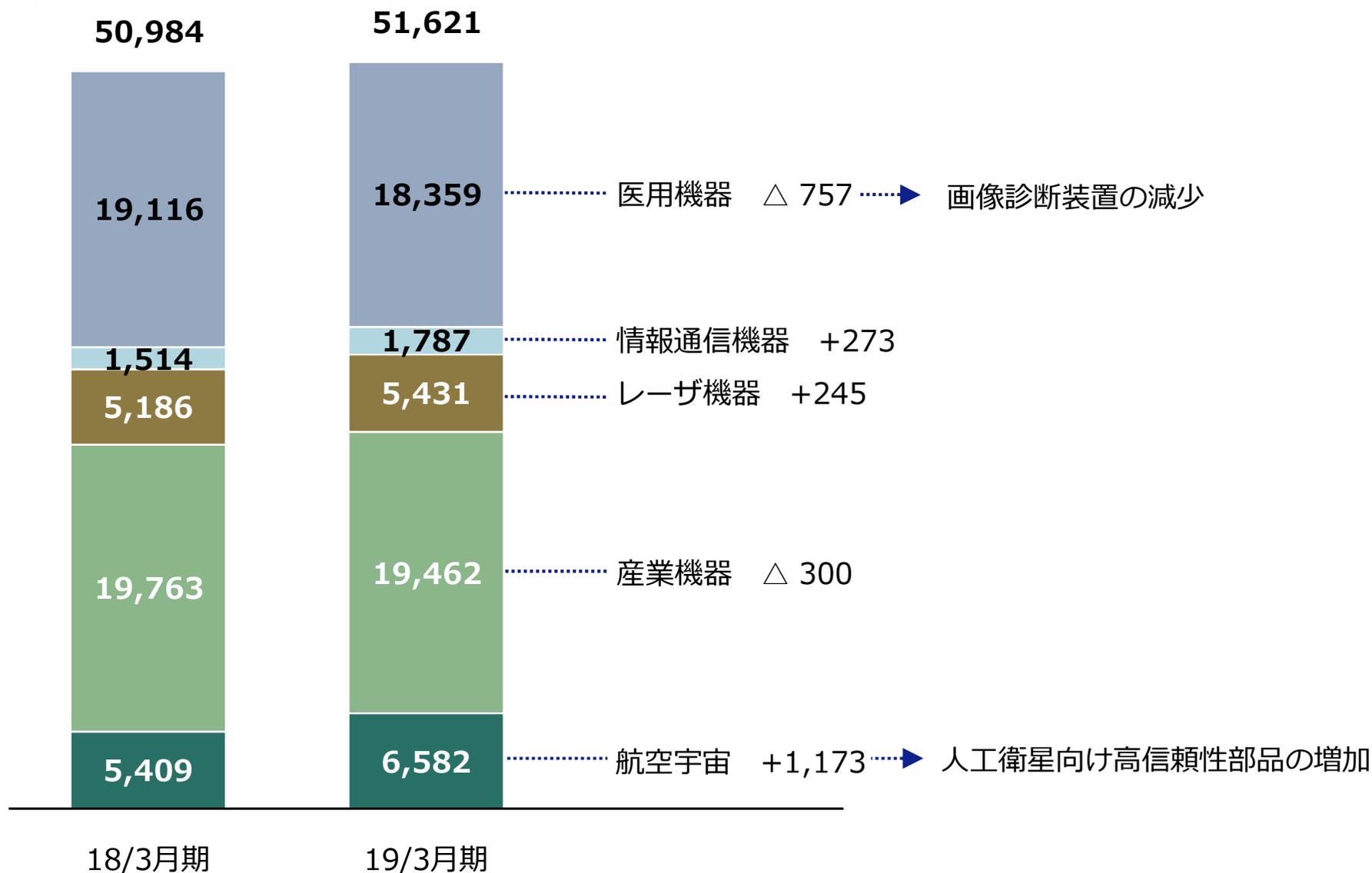
2019年3月期 『デバイス事業』 用途別動向

用途	動向
自動車	→ 車内通信向けで増加
産業機器その他	→ 工作機械などFA機器向けが減少
通信機器	→ 通信端末向けが減少
コンピュータ&OA	→ PC向けが減少
民生機器	→ TV向けが減少

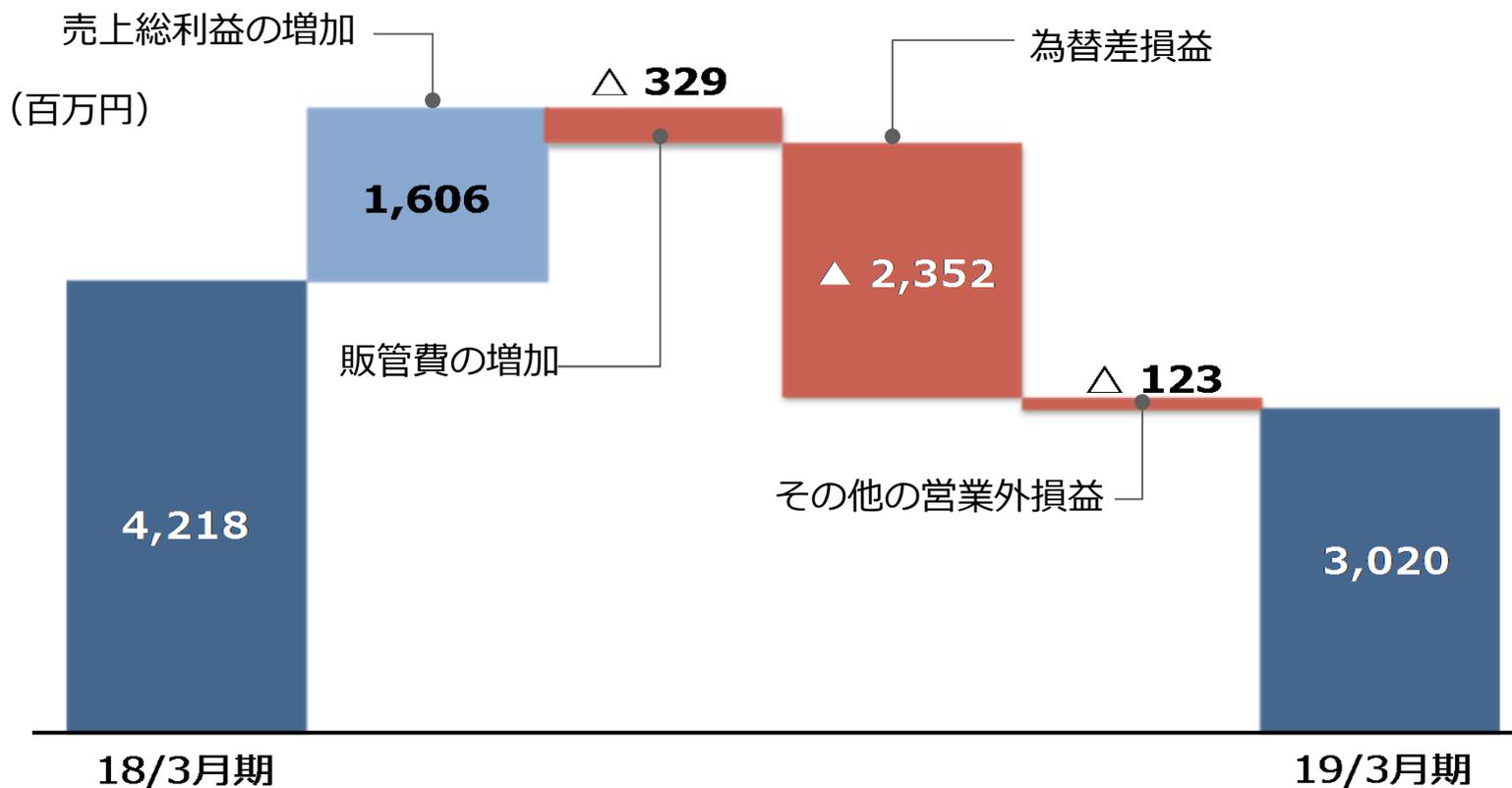


2019年3月期 『システム事業』 品目別売上高

(百万円)



2019年3月期 経常利益の増減要因



売上総利益	在庫評価の戻し入れ、円安での差益増による売上総利益の増加 18/3月期：211億円(6.1%) → 19/3月期：227億円(7.0%)
販管費	減価償却費、業務委託費などの増加 18/3月期：173億円 → 19/3月期：177億円
営業外損益	為替差損益 18/3月期：差益11億円 → 19/3月期：差損12億円

2019年3月期 貸借対照表の概要

(百万円)	18/3月期末 実績	19/3月期 末 実績	前期末比 増減額	主な増減理由
資産合計	135,796	128,163	△ 7,633	
流動資産	123,322	113,985	△ 9,337	受取手形及び売掛金 △ 7,954
固定資産	12,474	14,177	1,703	
負債合計	86,619	78,436	△ 8,183	
流動負債	75,765	75,623	△ 142	短期借入金 +4,246
固定負債	10,854	2,813	△ 8,041	支払手形及び買掛金 △ 11,804
純資産合計	49,177	49,726	549	

2020年3月期 業績予想の概要

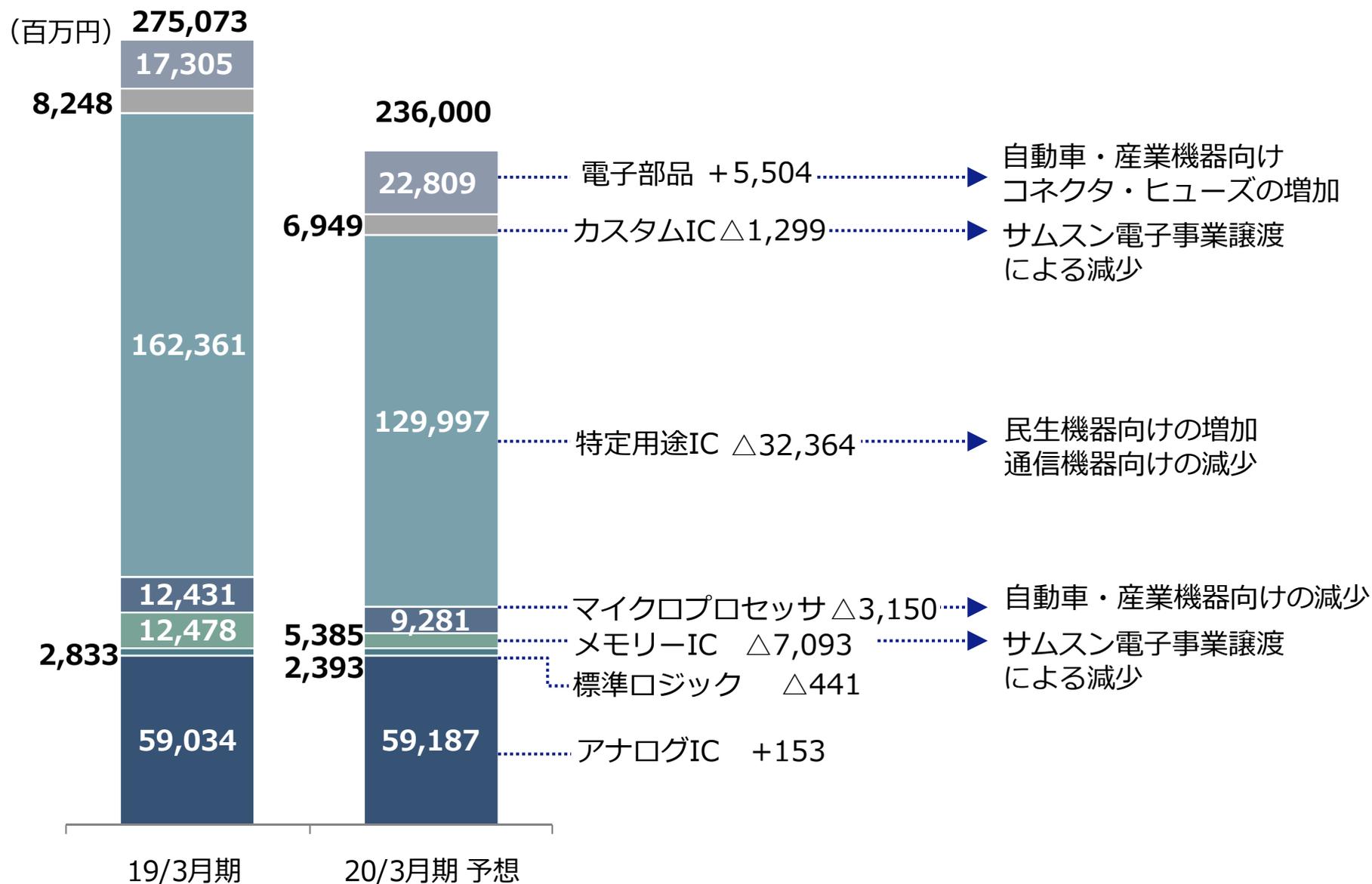
2020年3月期 業績予想サマリ

(百万円)	19/3月期		20/3月期予想		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
売上高	326,694	100.0%	291,500	100.0%	△ 35,194	-10.8%
デバイス事業	275,073	84.2%	236,000	81.0%	△ 39,073	-14.2%
システム事業	51,621	15.8%	55,500	19.0%	3,879	7.5%
売上総利益	22,767	7.0%	21,500	7.4%	△ 1,267	-5.6%
販管費	17,719	5.4%	17,500	6.0%	△ 219	-1.2%
営業利益	5,048	1.5%	4,000	1.4%	△ 1,048	-20.8%
営業外収益	568	0.2%	600	0.2%	32	5.6%
営業外費用	2,596	0.8%	1,450	0.5%	△ 1,146	-44.1%
経常利益	3,020	0.9%	3,150	1.1%	130	4.3%
特別利益	38	0.0%	-	-	-	-
特別損失	76	0.0%	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,636	0.5%	1,750	0.6%	114	7.0%

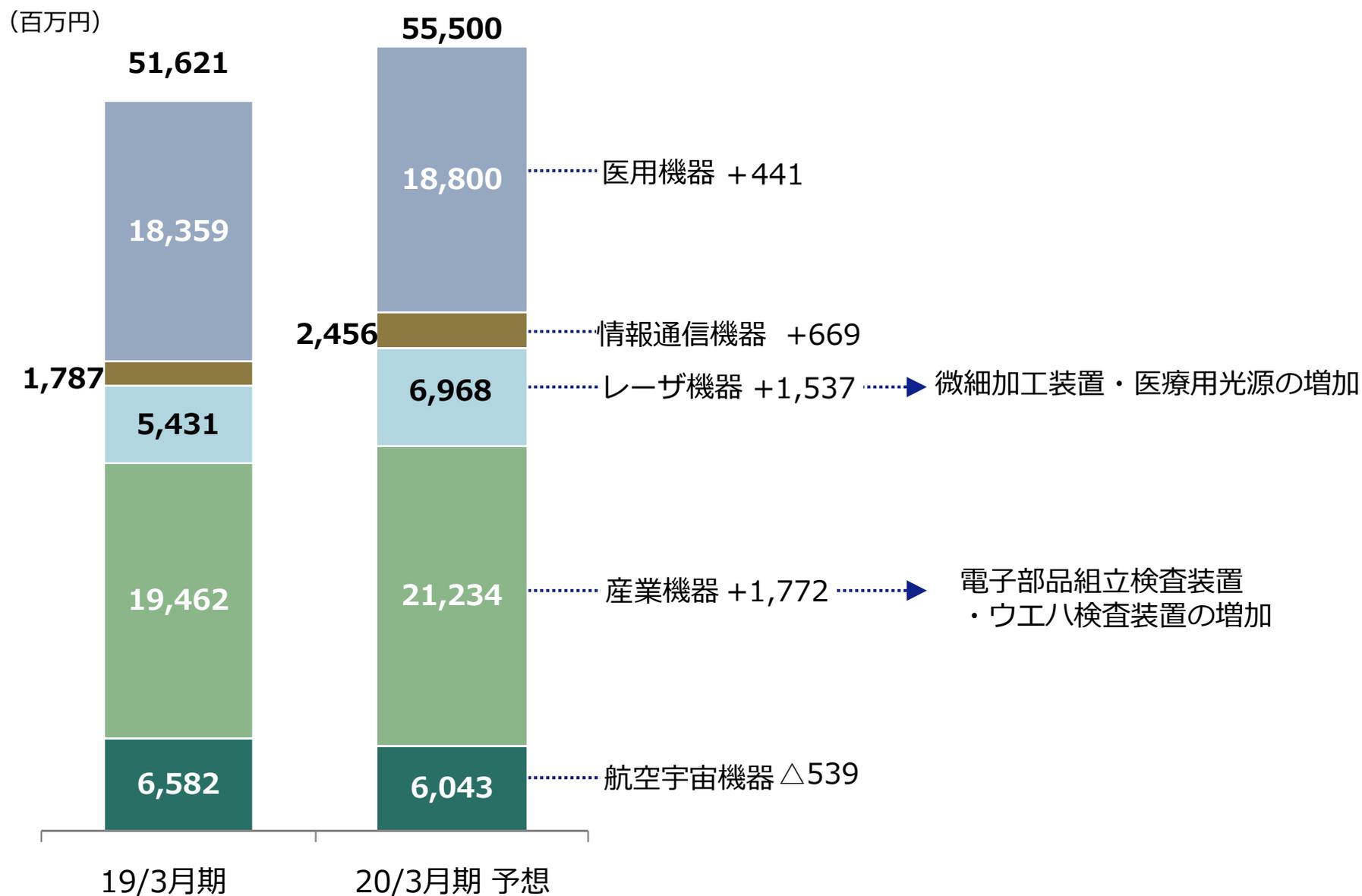
Point

売上高	サムスン電子事業譲渡による減少(上期)、通信機器向け半導体の減少
売上総利益	売上減による減少、前期計上の在庫評価損の戻し入れの反動減
営業利益	売上総利益の減少による減少
経常利益	為替差損益を見込まないため前期並み

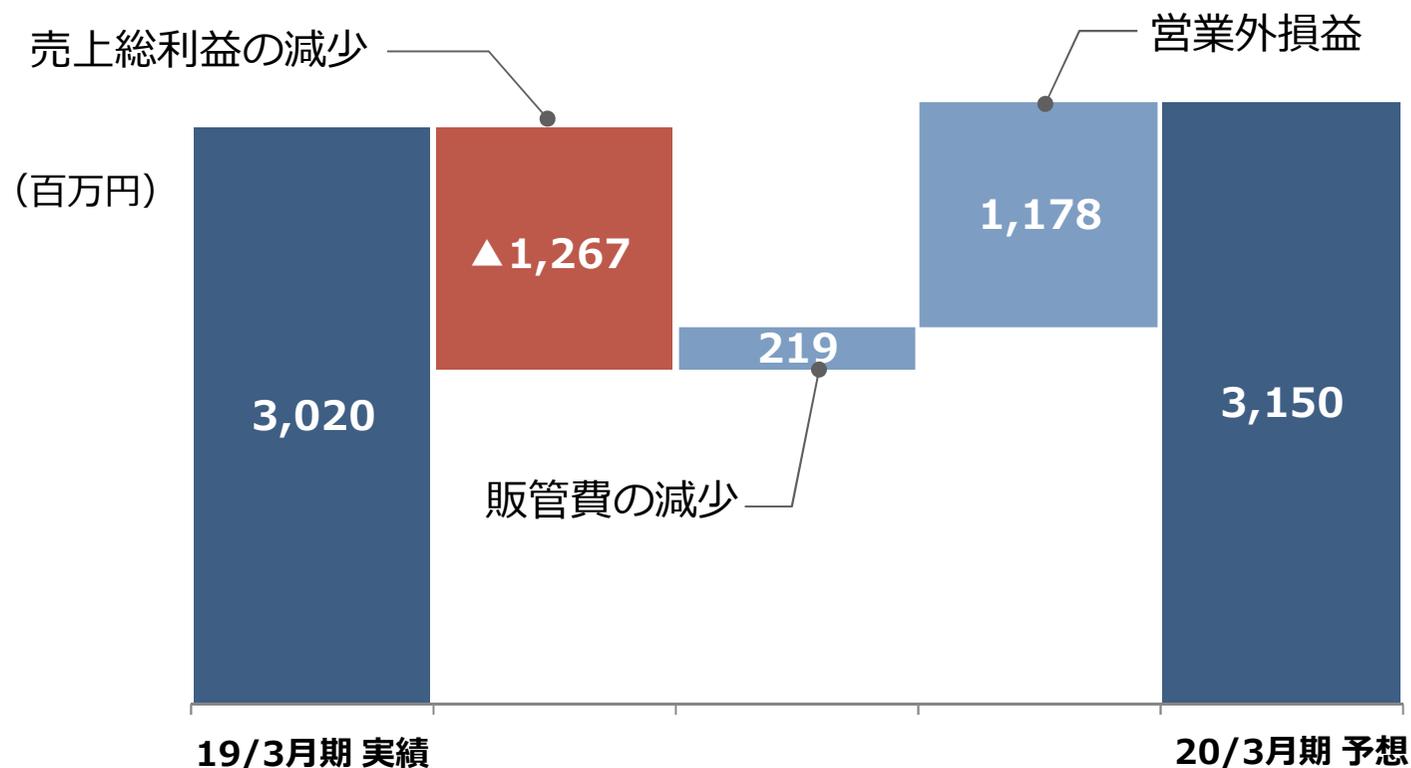
2020年3月期 『デバイス事業』 品目別売上高予想



2020年3月期 『システム事業』 品目別売上高予想



経常利益の増減要因（前期 vs. 予想）



売上総利益	前期の在庫評価の戻し入れの反動減や売上減による減少 19/3月期：227億円(利益率7.0%) → 20/3月期予想：215億円(7.4%)
販管費	前期並み 19/3月期：177億円 → 20/3月期予想：175億円
営業外損益	為替差損益は見込まず 19/3月期：為替差損12億円

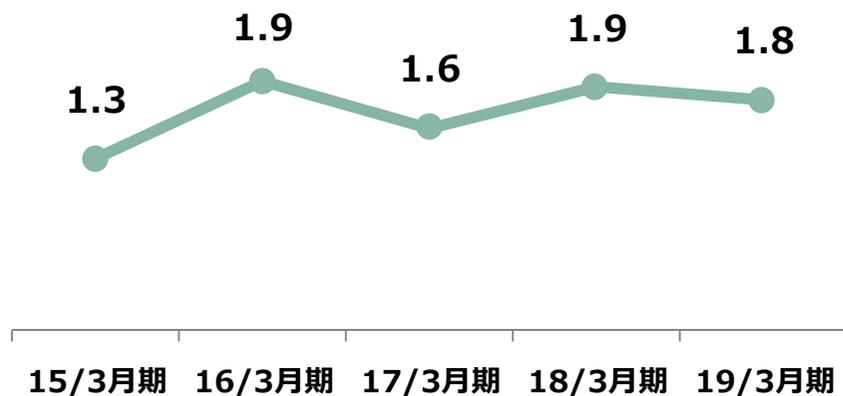
株主還元

株主還元

■ 配当方針

配当性向 連結30%以上

■ DOE(株主資本配当率)の推移(%)



■ 配当予想

	19/3月期	20/3月期 (予想)
1株当たり年間配当金(円)	30.00	30.00
中間配当	10.00	10.00
期末配当	20.00	20.00
配当性向(%)	47.9	44.8

中期経営計画 事業戦略と重点施策

2016-2018年度 中期経営計画の振り返り

デバイス事業

- **ベースビジネス強化**
 - ▶ 自動車向け事業が拡大
- **成長市場での事業強化**
 - ▶ 医療・IoT分野に注力
- **新規商材の事業化推進**
 - ▶ ユニークな技術を持つ企業に投資
- **グローバル展開加速**
 - ▶ 北米事業拡大・欧州拠点開設

システム事業

- **エンジニアリングサービス拡充**
- **システムインテグレーション強化**



情報通信機器などにおける
製品拡充による差別化

レーザ機器・ボードPCで
安定Biz確保、収益力向上

業績の推移

	2016年度	2017年度	2018年度
売上高	2,706億円	3,475億円	3,266億円
デバイス事業	2,201億円	2,965億円	2,750億円
システム事業	505億円	509億円	516億円
経常利益	26億円	42億円	30億円
ROE	4.0%	4.9%	3.8%

進捗と課題

デバイス事業

- 新規商材の立ち上げ遅れ
- 既存ラインカードの伸び悩み

システム事業

- 売上・利益が堅調に増加

成長への基礎固めが進む

2019-2021年度 新中期経営計画

■ 企業理念

「人と技術とサービスで、お客様のために
新たな価値を創造し、社会発展に貢献する」

「先見」と「先取」の精神

社会生活を変革する新しいテクノロジーが拡大

IoT

AI

ロボティクス

変化をチャンスとする

新中計における3つの方針

① 新たな価値を創造するビジネスモデルの構築

- 差別化した付加価値の高い
製品・サービスをソリューション提供



新たなビジネスモデルの構築
事業ポートフォリオの進化

② 成長市場に向けた事業開発の促進

- 小型電源
- 医療・IoT
- ロボティクス



これまでの投資



これまで取り組んできた新規事業の
着実な収穫
新たな投資・M&A・アライアンス

③ 持続可能な社会に貢献する取り組みの強化

- 先進の“尖った技術”で未来を豊かに



ESGの取り組みを強化
当社ソリューションで貢献

ROE 8%を目指して構造改革に取り組む

デバイス事業の取り組み

既存ラインカードの深耕

- ラインカードを組合せたソリューション提案
- デジタルマーケティングによるお客様の潜在ニーズの取り込み

成長市場での事業拡大

■ 成長が期待される分野での事業化を加速

- 自動車分野



Silicon Mobility社

- 医療分野



MC10社

- ロボティクス分野

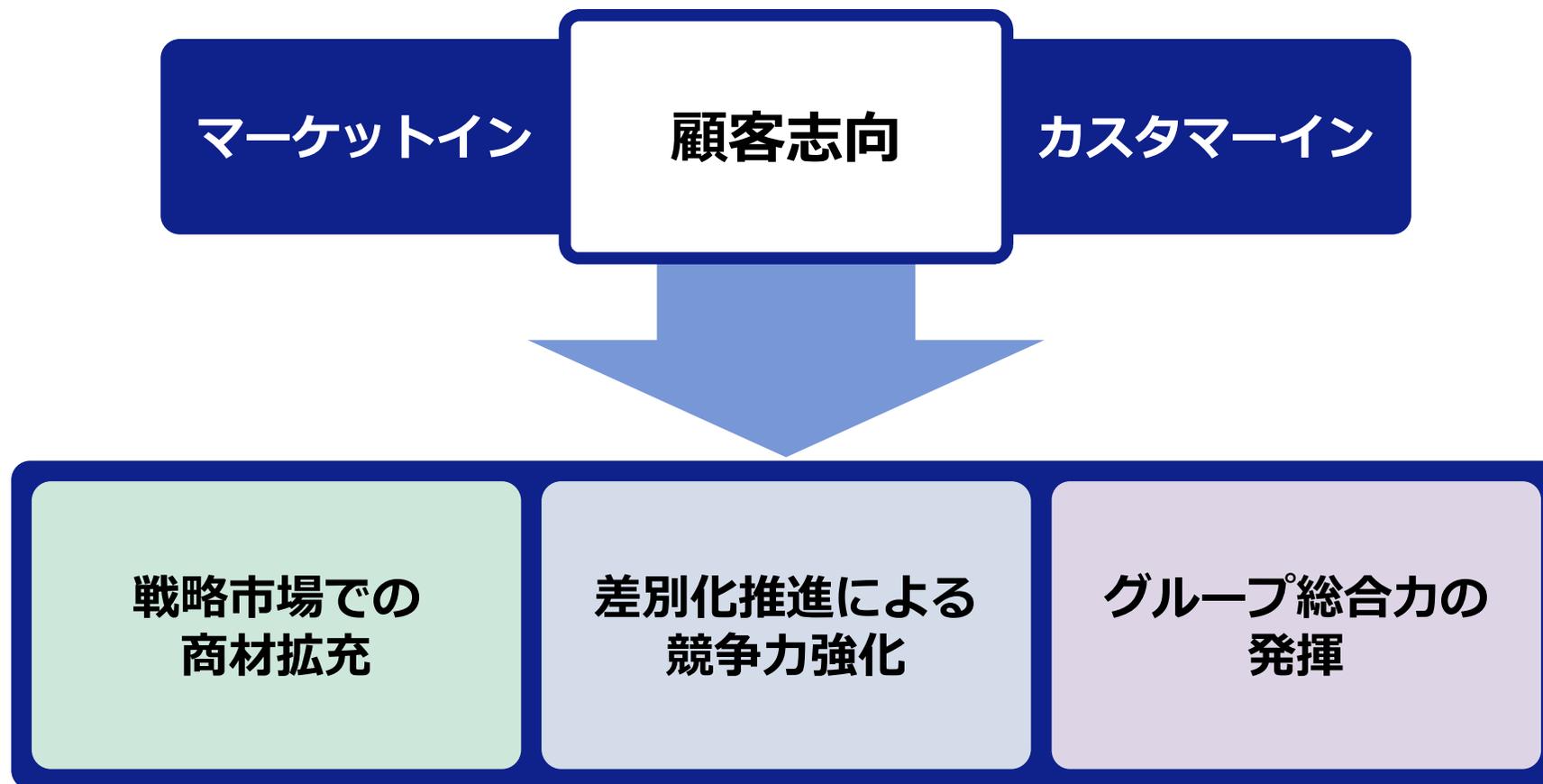


Aeolus Robotics社

海外ネットワークの充実

- 北米市場での成長維持・拡大
- 欧州での事業の立ち上げを加速

システム事業の取り組み



システム事業の分野別の取り組み

航空宇宙機器

- 人工衛星搭載モジュール向け高信頼性部品の受注拡大
- 新規商材の立ち上げ



情報通信機器

- ハードからソフトまで幅広い商材の拡充
- コンサルティング力など専門性の高度化



Septentrio社
高精度GPS受信機

レーザ機器

- 産機組込み用レーザ・医用機器向け事業の維持・拡大
- 新規アプリケーション開発促進、プロモーション強化



nLight社
組込み用半導体レーザ

産業機器

- 最先端製品の拡充・ソリューション強化
- 産機組込みコンピュータや自動車市場向け装置の伸長



ADLINK社
組込み用コンピュータ

医療機器

- 画像診断装置のエンジニアリング力強化
- 新規商材の拡充・販売エリアの更なる拡大



参考情報

企業概況

会社概要

創 業	1844年（弘化元年）
設 立	1947年（昭和22年）7月
所 在 地	東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号
資 本 金	62億1,450万円
決算期日	3月31日
代 表 者	代表取締役社長 水野象司
売 上 高	連結 3,266億円（2019年3月期） 単体 2,373億円（2019年3月期）
従業員数	連結 1,336名（2019年3月末） 単体 780名（2019年3月末）
株式上場	東京証券取引所 市場第一部（コード:7537）

事業領域

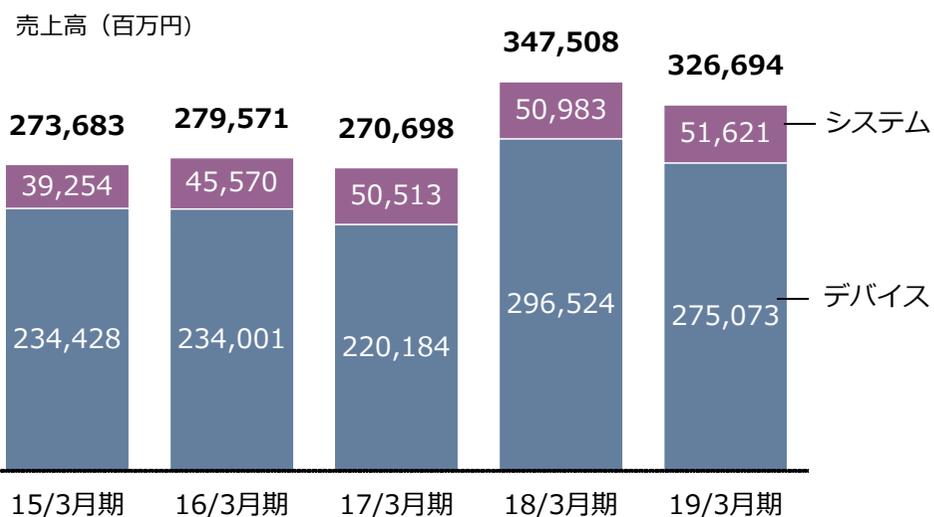
デバイス事業

- 半導体
- 電子部品

システム事業

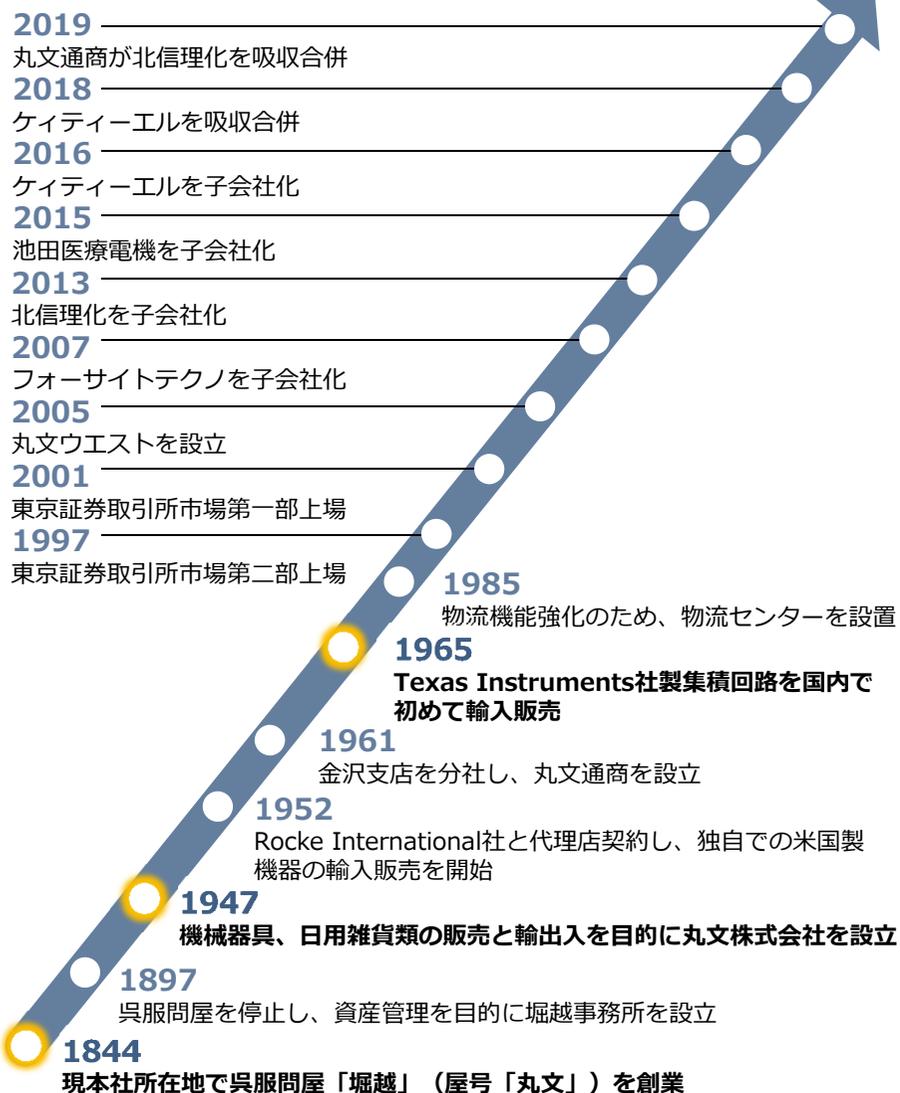
- 航空宇宙機器
- 産業機器
- レーザ機器
- 情報通信機器
- 医用機器

連結売上高の推移

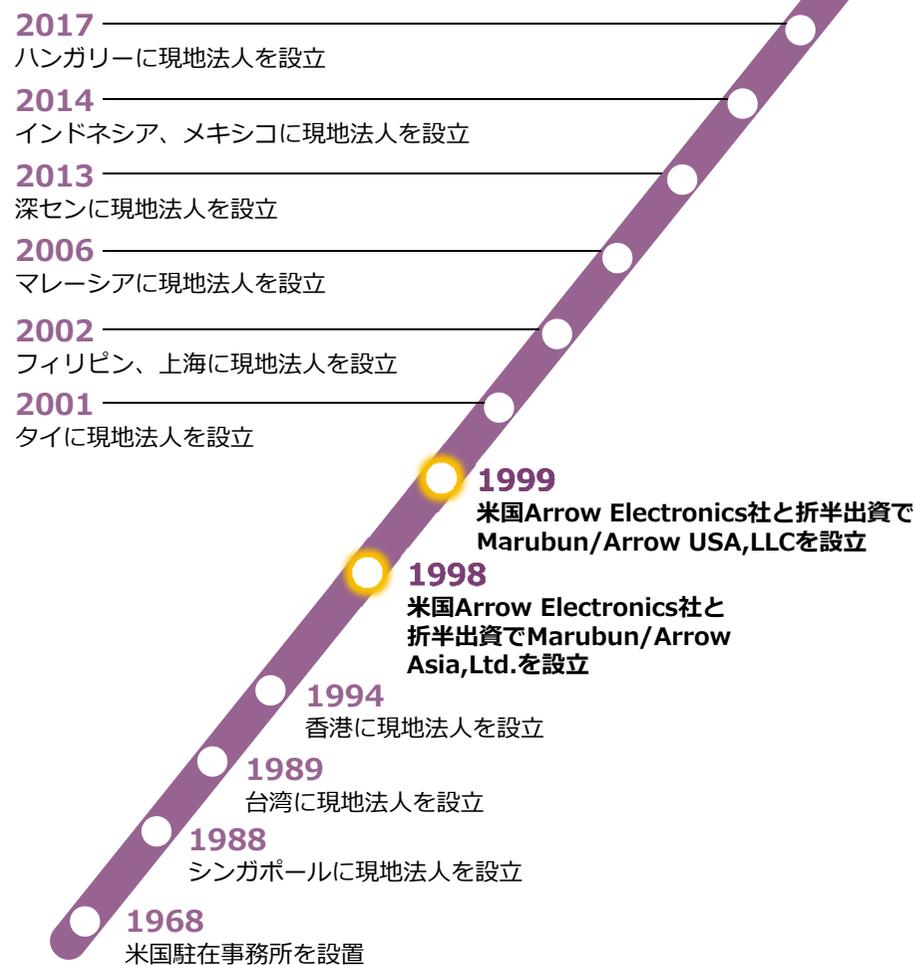


沿革

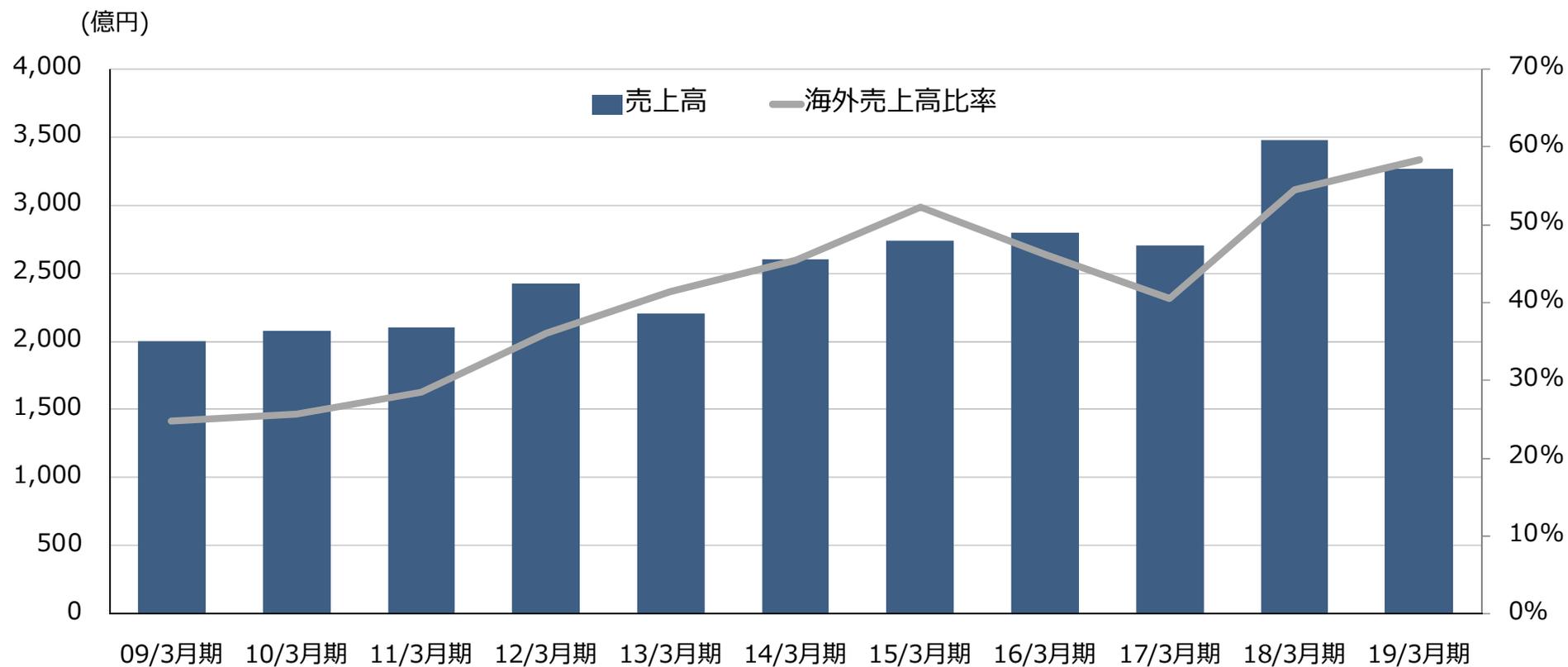
国内



海外



中長期トレンド（売上高・海外売上高比率）



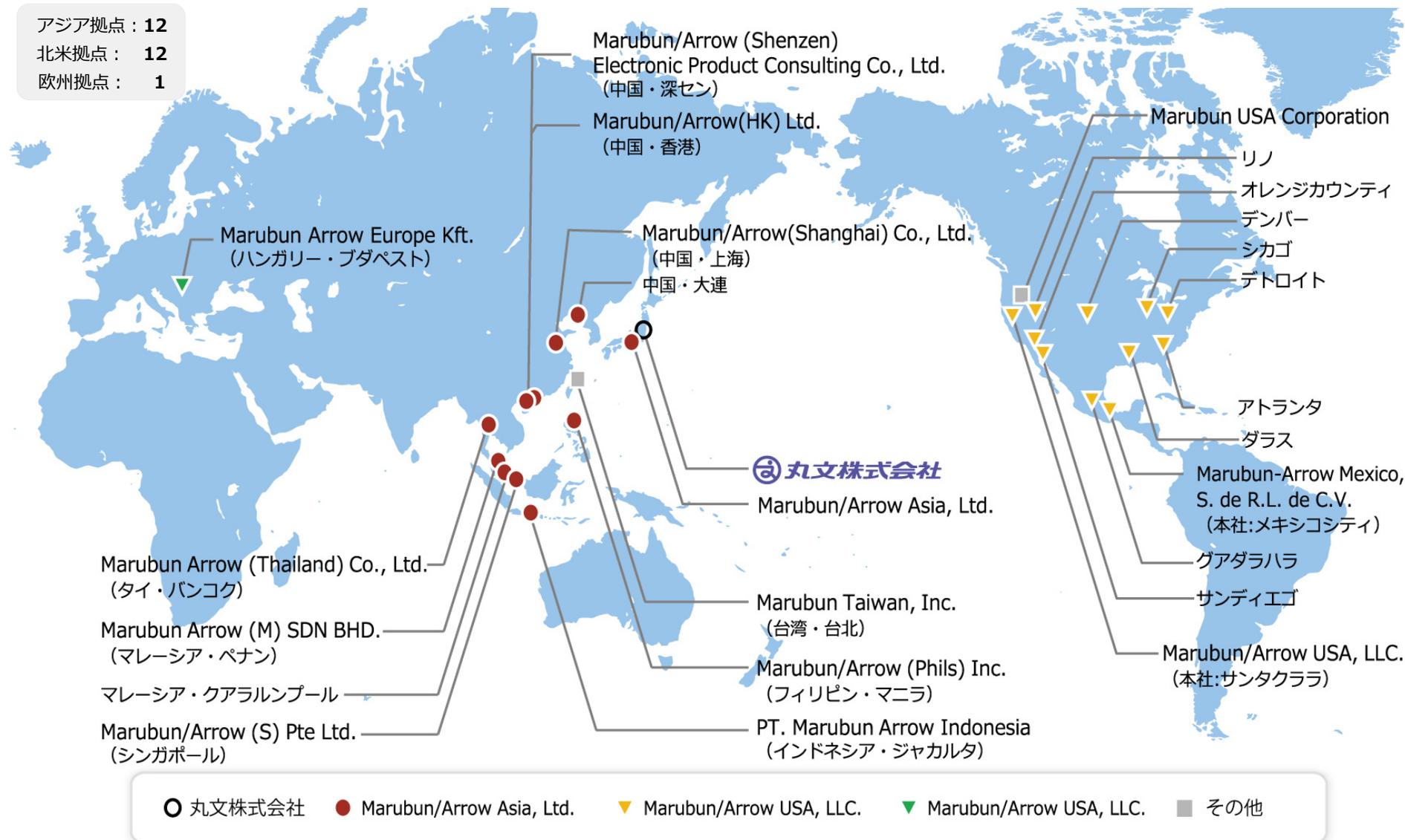
国内拠点



(2019年4月現在)

グローバルネットワーク

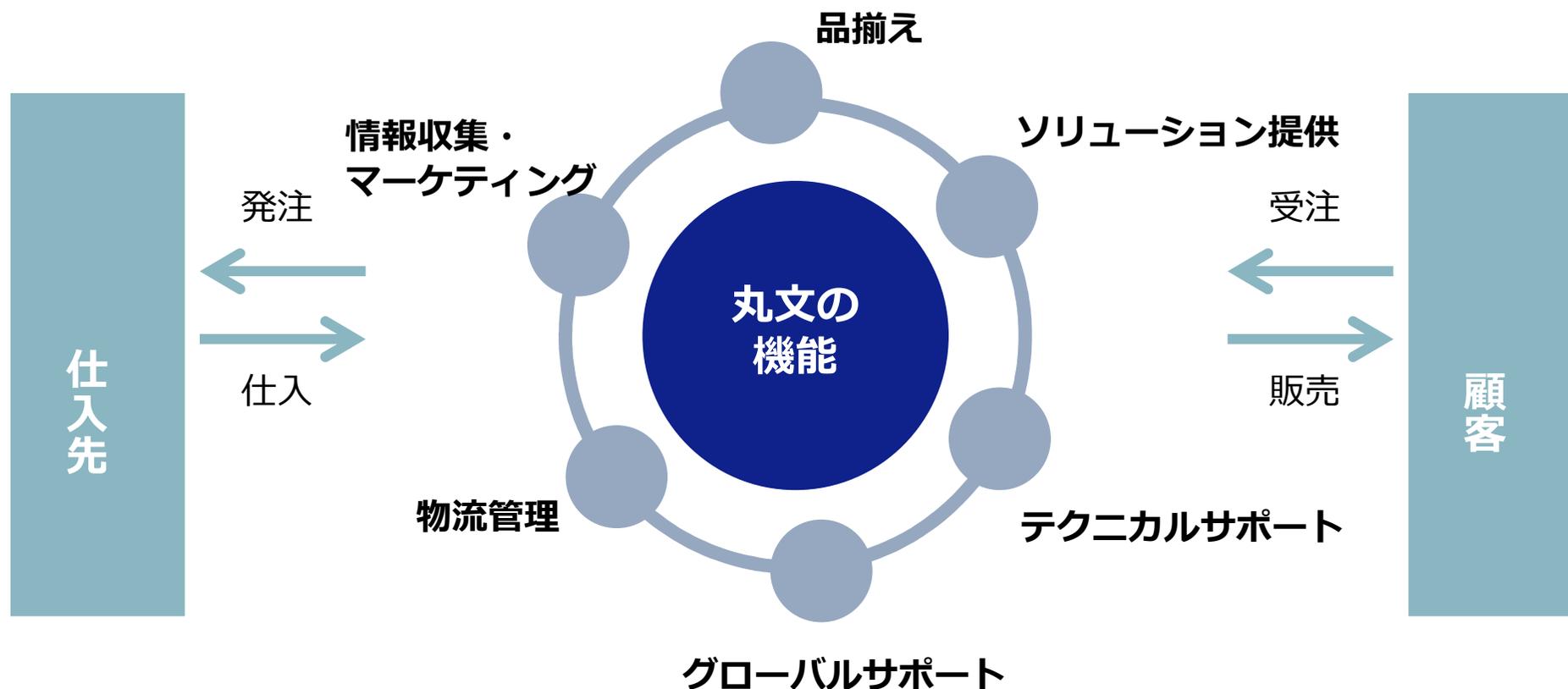
アジア拠点：12
北米拠点：12
欧州拠点：1



(2019年4月現在)

デバイス事業：特徴と強み

- 海外サプライヤを中心とした豊富な品揃え
- 米国アロー社(80ヶ国、345拠点)との提携によるグローバルネットワーク
- 高度な技術力をもとにしたソリューション提案力
- 強固な顧客基盤



デバイス事業：グループ会社概要

社名	住所	設立年月	出費比率	事業内容
Marubun USA Corporation	California, U.S.A.	1983年10月	100%	丸文アローUSAの持株会社
Marubun Taiwan, Inc.	Taipei, Taiwan	1989年11月	100%	台湾製デバイスの仕入販売
Marubun/Arrow Asia, Ltd.	British Virgin Islands	1998年10月	50%	丸文アローシンガポール、 丸文アロー香港の持株会社
Marubun/Arrow (S) Pte Ltd.	Anson Road, Singapore	1988年3月	50%	
Marubun/Arrow (HK) Ltd.	Hong Kong, China	1994年8月	50%	
Marubun Arrow (Thailand) Co., Ltd.	Bangkok, Thailand	2000年10月	50%	
Marubun/Arrow (Phils), Inc.	Laguna, Philippines	2001年10月	50%	
Marubun Arrow (M) SDN BHD	Penang, Malaysia	2006年6月	50%	
Marubun/Arrow (Shanghai) Co., Ltd.	Shanghai, China	2002年9月	50%	海外進出した日系企業への 半導体・電子部品の仕入販売
Marubun/Arrow (Shenzhen) Electronic Product Consulting Co.,Ltd.	Shenzhen, China	2013年6月	50%	
PT. Marubun Arrow Indonesia	Jakarta, Indonesia	2014年4月	50%	
Marubun/Arrow USA, LLC*	Delaware, U.S.A.	1998年11月	50%	
Marubun-Arrow Mexico, S. de R.L. de C.V.*	MexicoCity, MEXICO	2014年9月	50%	
Marubun Arrow Europe Kft.*	Budapest, Hungary	2017年11月	50%	

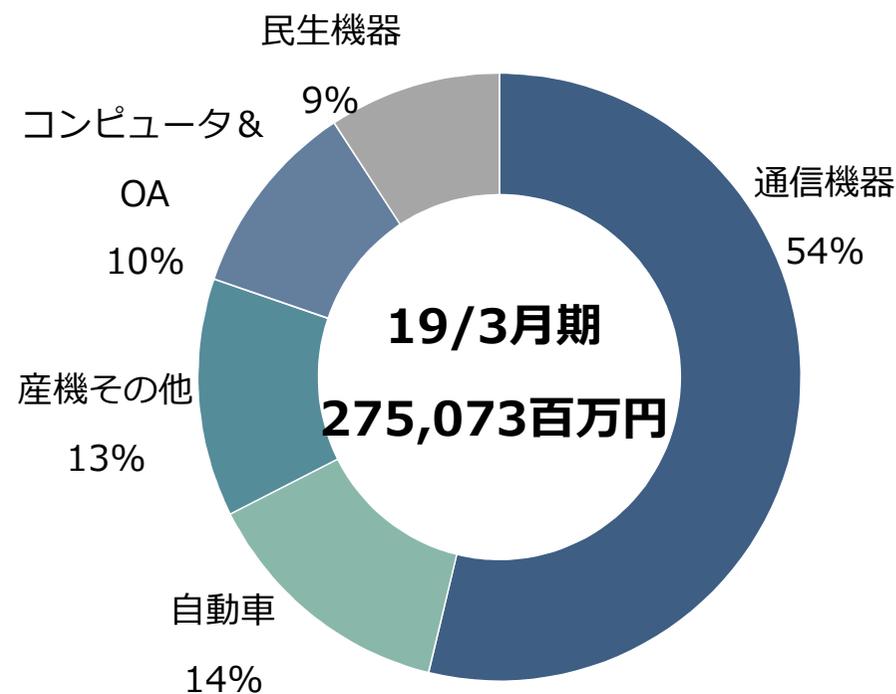
* Marubun/Arrow USA、Marubun-Arrow Mexico、Marubun Arrow Europe Kft.は持分法適用の関連会社です。

デバイス事業：取扱製品（サプライヤ別）

		サプライヤ（アルファベット順）													その他	
		旭化成 エレクトロニクス	エイブリック	Broadcom (米国)	Cypress (米国)	Eink (台湾)	FINSix (米国)	IDT (米国)	Littlefuse (米国)	Maxim (米国)	Molex (米国)	Qorvo (米国)	SanDisk(WD) (米国)	セイコー エプソン		TexasInstruments (米国)
半 導 体	アナログIC	●	●	●				●	●		●			●	●	
	標準ロジックIC														●	
	メモリーIC	DRAM														●
		フラッシュ											●			●
		その他メモリー		●				●					●			
	マイクロ プロセッサ	MPU、MCU												●	●	●
		DSP	●						●						●	●
	特定用途IC	ASSP	●		●	●			●	●		●		●	●	●
		ディスプレイドライバ												●	●	
		DMD													●	
LED															●	
カスタムIC	●												●	●		
電 子 部 品	表示デバイス					●									●	
	水晶デバイス		●					●					●			
	コネクタ・スイッチ・プリント基板									●					●	
	モジュール製品						●								●	

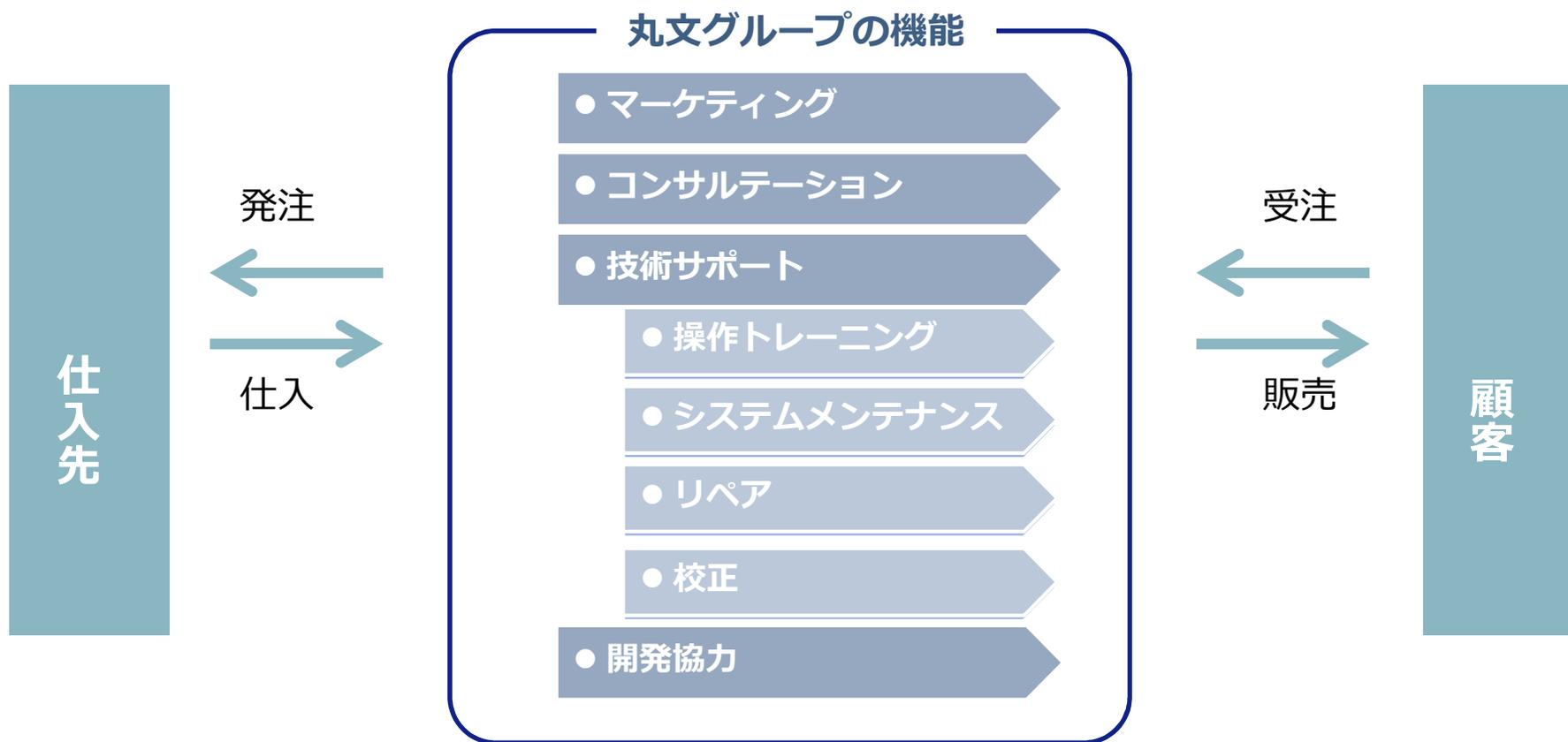
デバイス事業：主要取扱い製品（用途別）

		通信機器	コンピュータ	産業機器	自動車	民生機器
半導体						
アナログIC	アナログ	●	●	●	●	●
	ディスクリート	●		●	●	●
標準ロジックIC						
メモリーIC	DRAM	●	●		●	●
	フラッシュ	●	●			●
マイクロプロセッサ	MPU、MCU	●	●	●	●	●
	DSP	●		●	●	●
特定用途IC	ASSP	●			●	●
	ディスプレイドライバ	●	●		●	●
	DMD	●	●	●	●	●
	LED	●	●			●
カスタムIC						
電子部品						
表示デバイス		●	●	●	●	●
水晶デバイス		●		●	●	●
コネクタ・スイッチ・プリント基板		●				●
モジュール製品			●		●	●



システム事業：特徴と強み

- ハイエンド市場で、技術優位性の高い電子機器・部品を提供
- システム提案から据え付け保守まで、一貫した高レベルの技術サポート

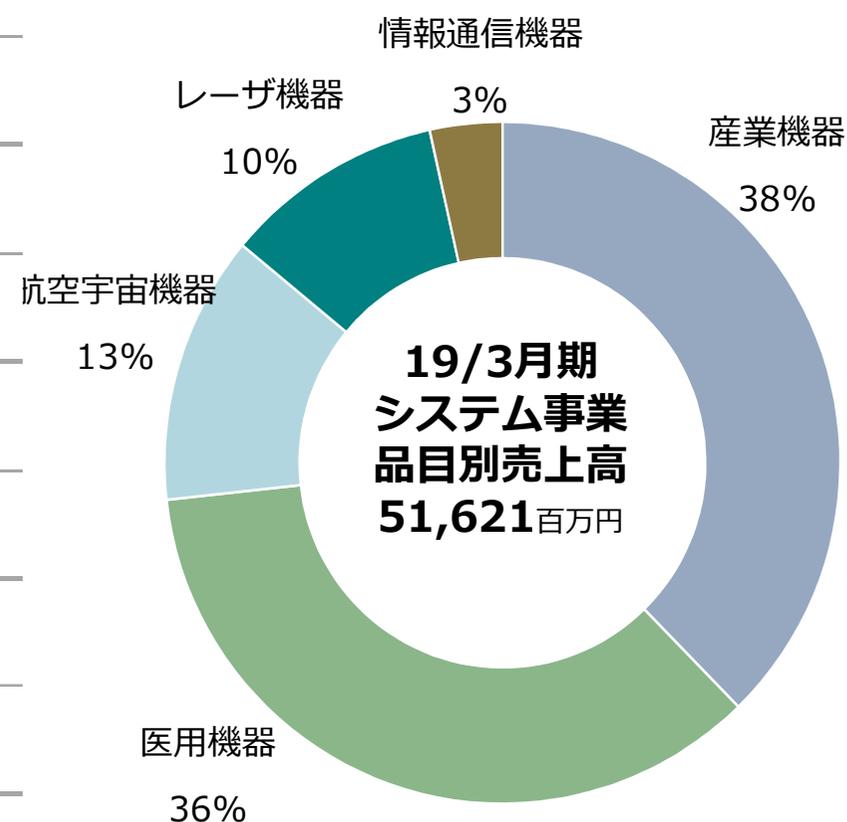


システム事業：グループ会社概要

社名	本社	設立年月	出費比率	事業内容
丸文通商株式会社	石川県金沢市	1961年3月	100%	医用機器および試験計測機器の仕入販売・修理・メンテナンス
丸文ウエスト株式会社	兵庫県神戸市	2005年5月	100%	試験計測機器の仕入販売
株式会社フォーサイトテクノ	東京都江東区	1999年3月	51%	システム製品の修理・メンテナンス、エンジニアリングサービス

システム事業：主要取扱い製品①

分野	主要取扱商品	主要仕入先
産業機器	検査装置 組込・検査装置	ユニハイトシステム、FEI、島津製作所、 アキム、セイコーエプソン
	組込ソリューション	ARTESYN、Aitech、ADLINK、
	科学機器	LayTec、Riber
医用機器	画像診断機器	シーメンス、島津製作所、 コニカミノルタヘルスケア
	人工透析機器	日機装、旭化成メディカル、 カネカメディックス
レーザー機器	半導体レーザー レーザー加工機	nLight、Laserline
	光機器	Excelitas Technologies、 Luminus Devices、First Sensor
航空宇宙機器	宇宙関連機器	Tele Communication Systems、
	計測・センサ	GEセンシング、Meggit、Plascore
	航空関連機器 高周波電子機器	TEXTRON、L3 Technologies、 CPI、Bird
情報通信機器	RF・光通信 測位タイミング	PCTEL、Finisar、EXFO、 Microsemi、Calnex、Spirent

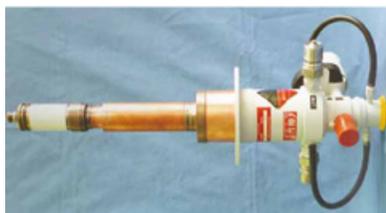


システム事業：主要取扱い製品②

航空宇宙機器



BEI Sensors社
高信頼性部品



CPI社
マイクロ波電子管

産業機器



島津製作所
ガスクロマトグラフ質量分析計



アキム
電子部品組立装置



FEI社
赤外線発熱解析装置



FUJI
大気圧プラズマ表面改質装置

システム事業：主要取扱い製品③

レーザ機器



nLIGHT社
組み込み用半導体レーザ



Laserline社
レーザー加工装置

情報通信機器



Microsemi社
ネットワークタイムサーバー



Spirent社
GNSSシミュレータ

医用機器

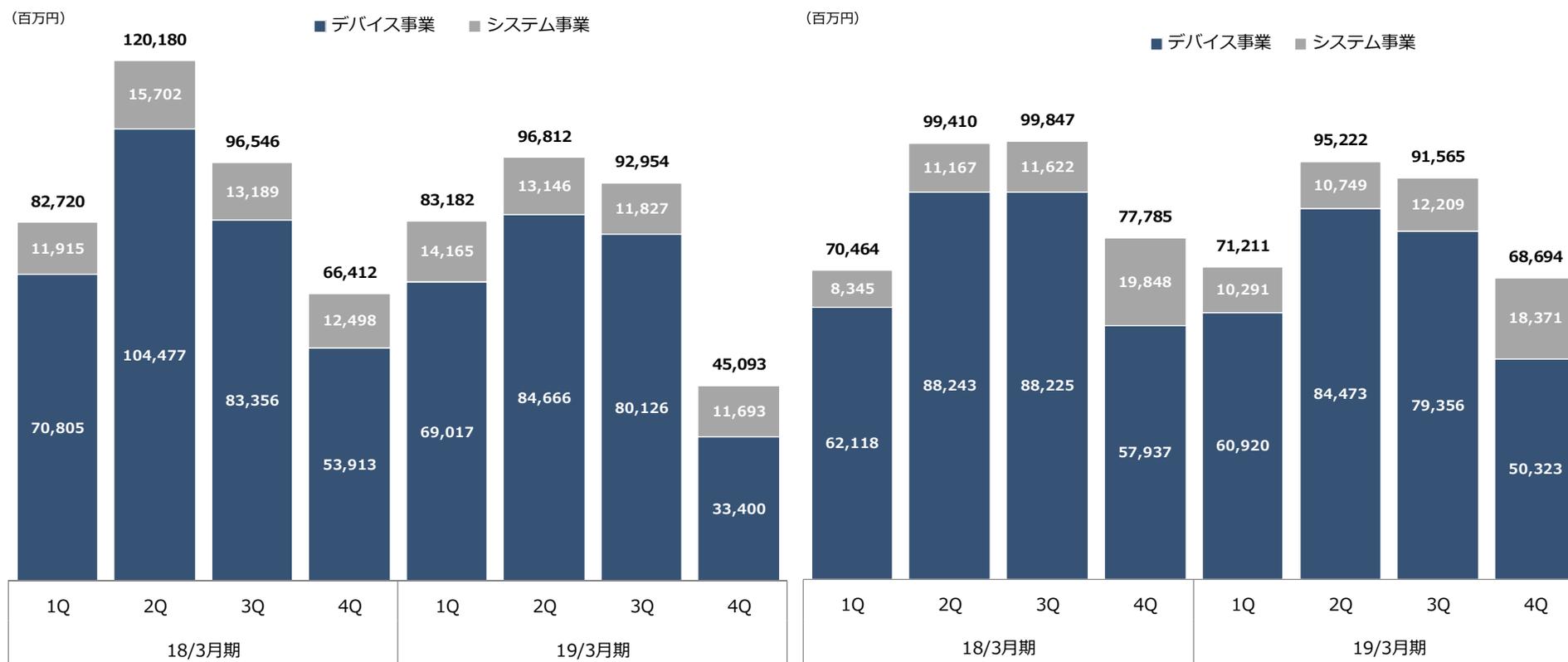


シーメンス・ジャパン社
X線CT装置

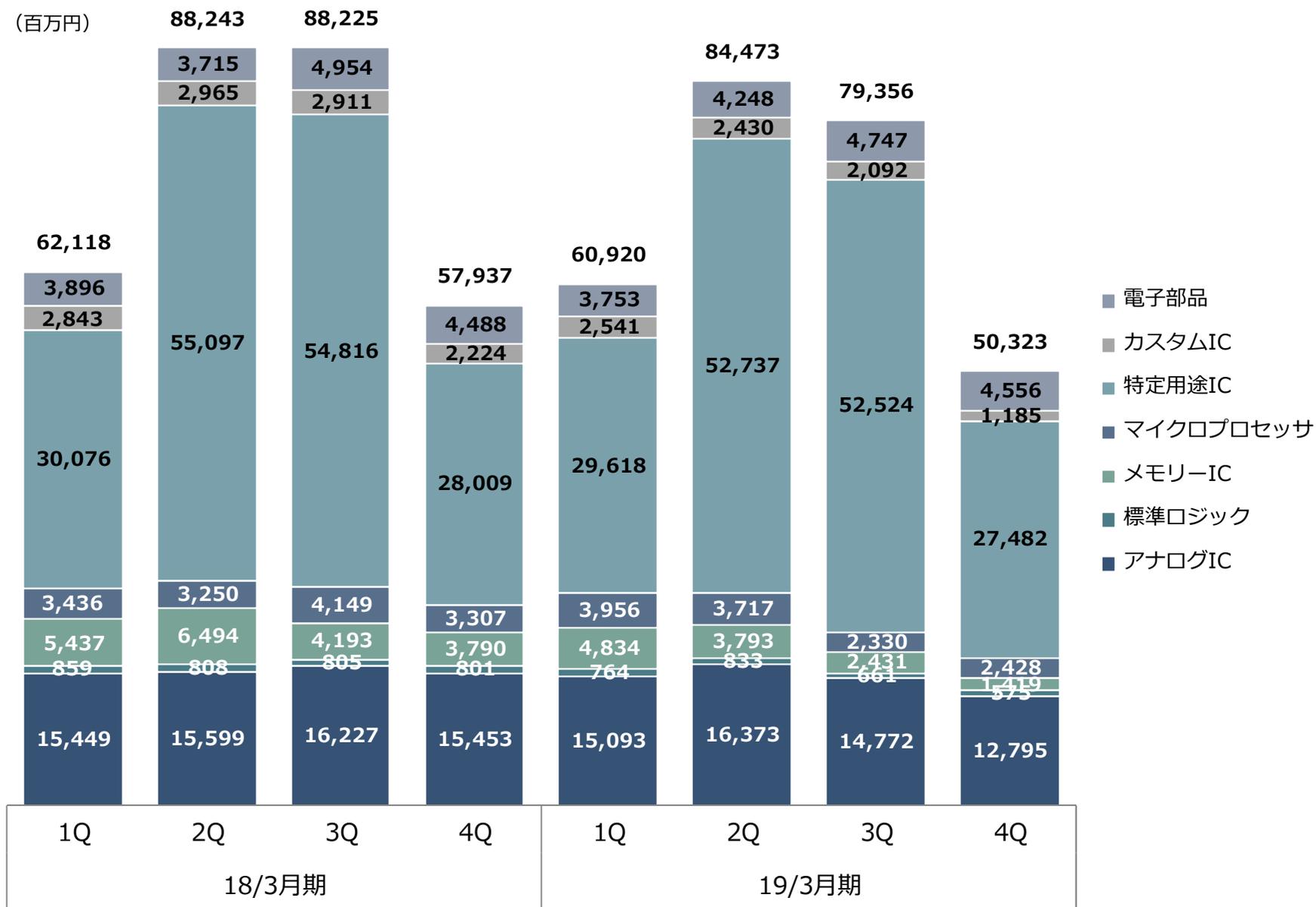
業績四半期推移（事業別受注高・事業別売上高）

事業別受注高

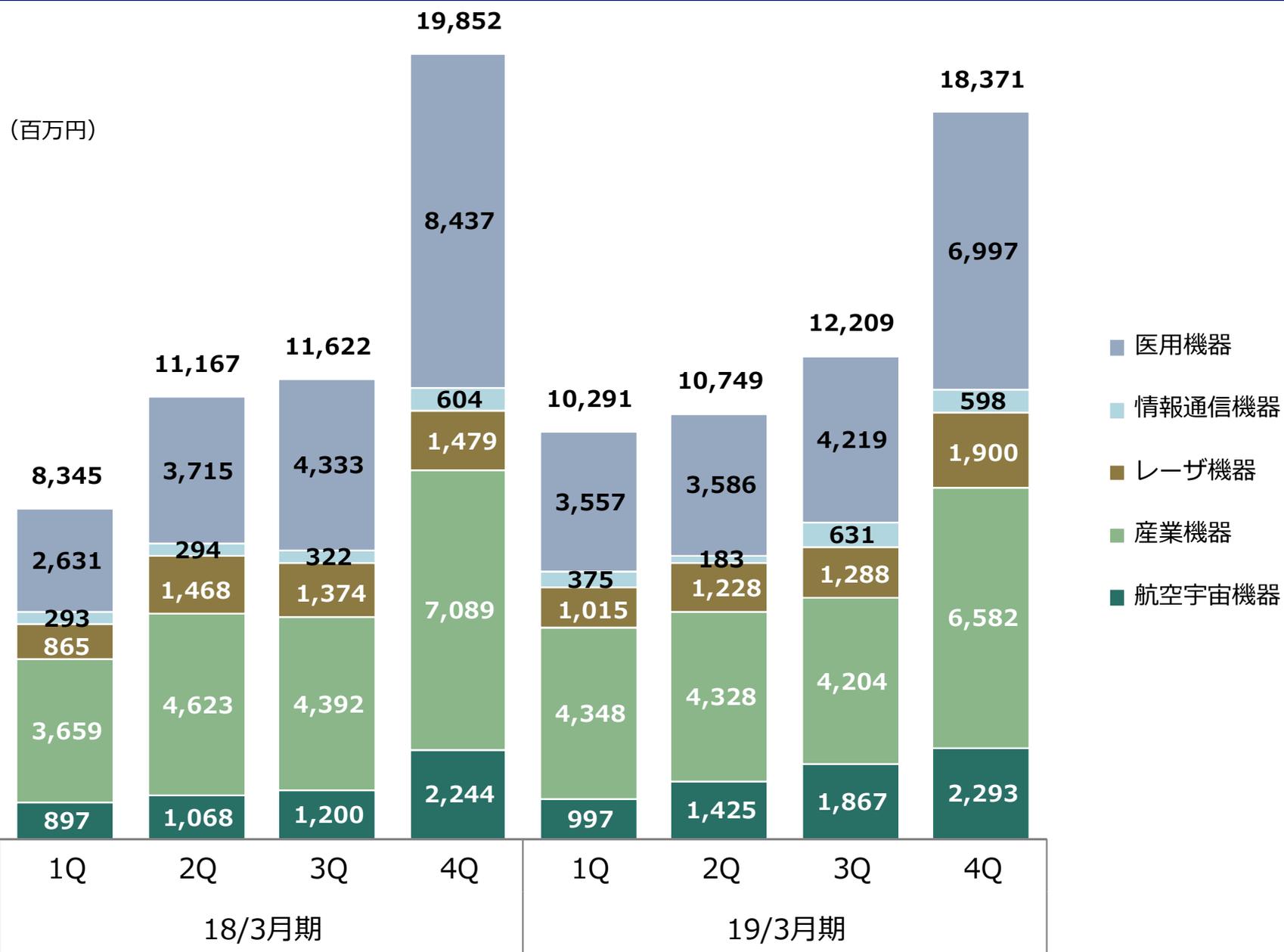
事業別売上高



業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）



業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）



本資料お取り扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社 経営企画部

TEL 03-3639-3010

E-mail ir@marubun.co.jp